

第1期みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン(平成28年度～令和2年度)のKPIの達成状況

資料3-2

分類			指標名(KPI)	単位	当初値	R2目標値	現状値	達成状況※1			
戦略1 産業の営みをつなぐ(圏域全体の経済成長のけん引)			農林業圏域内総生産額(↑)	千万円	3,589	3,768	3,744	○順調			
			製造品出荷額等(↑)	千万円	26,871	28,215	33,440	◎達成			
			第三次産業の年間売上額(↑)	千万円	251,457	264,030	346,390	◎達成			
			圏域内観光客入込数(↑)	万人回	999	1,049	977	○順調			
			連携分野	(ア) 産学金官民一体となった経済戦略の策定, 国の成長戦略実施のための体制整備	圏域内事業所従業者数(↑)	人	167,713	176,000	172,294	○順調	
(イ) 産業クラスターの形成, イノベーション実現, 新規創業支援, 地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成	創業支援計画における新規創業者延べ数(↑)	件		519	900	1,367	◎達成				
(ウ) 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	圏域内における製造業の一人当たり粗付加価値額(↑)	千円		6,663	7,966	7,632	○順調				
(エ) 戦略的な観光施策	圏域内観光客入込数(↑)※再掲	万人回		999	1,049	977	○順調				
戦略2 人の流れをつなぐ(高次の都市機能の集積・強化)			広域バス路線数(→)	路線	93	93	89	○順調			
			圏域内のJR線及びIGRいわて銀河鉄道線各駅の乗降客数の合計(↑)	人	54,146	57,000	55,848	○順調			
			連携分野	(ア) 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築	広域バス路線数(→)※再掲	路線	93	93	89	○順調	
戦略3 暮らしの安心をつなぐ(圏域全体の生活関連機能サービスの向上)				圏域内就業者数(↑)	人	231,055	243,000	235,895	○順調		
			大学卒業生の県内就職率(↑)	%	45	55	44	△停滞			
			圏域全体の生活関連機能サービスの向上に係る連携事業数(都市圏ビジョンの実施事業数)(↑)	事業	26	30	30	◎達成			
			連携分野	(ア) 生活機能の強化に係る政策分野	a地域医療	小児救急輪番日患者数(→)	人/年	5,666	5,800	4,955	○順調
						二次救急輪番日患者数(→)	人/年	16,523	17,000	13,474	○順調
					b 介護	介護保険サービスの利用率(→)	%	91.6	91.6	85.2	○順調
					c 福祉	盛岡市から各広域市町の保育所等へ, 各広域市町から盛岡市の保育所等へ入所を希望した児童の内, 入所に至った児童の割合(↑)	%	55.0	77.4	74.2	○順調
						圏域における障がい者の相談件数(→)	件/年	8,266	8,300	5,251	○順調
					d 教育・文化・スポーツ	圏域内の社会教育・スポーツ施設利用者数(↑)	人	5,161,154	5,419,000	確認中	—
					e 地域振興	圏域内における29歳以下の就業者数(↑)※2	人	37,760	34,300	34,290	○順調
					f 災害対策	災害用非常食糧の備蓄数(↑)	食	38,240	87,000	59,370	○順調
						南岩手山岳遭難隊員の訓練受講者数(→)	人/年	50	50	40	○順調
					g 環境	広域8市町のリサイクル率の平均値(↑)	%	18.2	20.35	18.1	○順調
			(イ) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	a 道路等の交通インフラの整備・維持	整備予定区間のうち供用できた延長割合(↑)	%	0	100	0	○順調	
				b 地域内外の住民との交流・移住促進	インターンシップへの参加事業者数(↑)	企業	64	90	55	○順調	
				c 上記に掲げるもののほか, 結びつきやネットワークの強化に係る分野	圏域の消費生活相談における解決率(↑)	%	98.7	99.0	98.5	○順調	
			(ウ) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	a 人材の育成	広域他市町の研修に参加した職員の割合(↑)	%	7.6	9.0	8.7	○順調	
				b 圏域内市町の職員等の交流	圏域内市町の職員の交流に係る検討会議回数(→)	回/年	1	1	1	◎達成	
					国民健康保険事業に関する会議・研修会の参加者数(→)	人/年	318	318	320	◎達成	

※1 達成状況については, 上昇指標と維持指標で別に判断しており, 判断基準は次のとおり

※2 目標値の設定にあたり人口減を踏まえ, 平成32年の将来推計人口(15歳～29歳)に5%を加算して目標値としている。

指標	◎達成	○順調	△停滞	×後退
上昇指標	目標値を超えている	目標値に向かって上昇傾向	当初値付近で停滞している	当初の水準より著しく下降している
維持指標	目標値を超えている	高水準で維持されている	低水準で維持されている	当初の水準より著しく下降している